

令和5年度
兵庫県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者実践研修
【事前課題】

以下の事項について、受講者の情報をご記入ください。

事業所名
事業所住所
整理番号
氏名
事前課題について、法人、事業所等として提出できることを申込責任者に確認してもらい、下記にチェックを入れてください。 ※申込責任者が受講者と同一の場合は、別の方が確認してください。
<input type="checkbox"/> 申込責任者に事前課題を確認してから提出している。

多職種及び地域連携に関する事前課題

受講番号	氏名
サービス種別	

『サービス担当者会議におけるサービス管理責任者の役割』と『（自立支援）協議会を活用した地域課題の解決に向けた取組み』の講義では、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者として多職種で連携し、自立支援協議会等を活用しながら地域課題に取り組む大切さと意義等を学びます。研修前に、ご自身の職場における、現在の『他機関や他職種との連携』、また『勤務先の地域における自立支援協議会に関する現状』について以下の①～④の項目をお答えください。

課題①－ 1

相談支援専門員が開催するサービス担当者（モニタリング）会議に参加する前に準備していることがあればご記入ください。また自事業所においてサビ管・児発管が開催する個別支援（計画）会議に参集することが多い参加者（自事業所の職種、家族、他機関職員等）をご記入ください。

<input type="checkbox"/> サービス担当者会議の準備	<input type="checkbox"/> 個別支援（計画）会議の参加者
---------------------------------------	---

課題①－ 2

勤務している事業所で支援上、連携したことがある他機関（施設、行政、病院、会社等）や他職種、また現在はほとんど（全く）連携していないが、したほうが良いと考える機関や職種があればご記入ください。

<input type="checkbox"/> 連携している機関や職種	<input type="checkbox"/> 連携したほうが良いと考える機関や職種
--------------------------------------	---

課題②

ご自身が今まで関わってきた障害者（児）のこれからの地域生活を考えた時、現在は地域に無くても、今後あれば良いと思う社会資源（サービス、人材）や制度、仕組みなどをご記入ください。

課題③

勤務先がある地域（市町）の（自立支援）協議会について、その概要をまとめてください。

（協議の内容、開催頻度、メンバー構成等）

※調べても情報が少なく不明瞭な場合は、市町担当者や基幹相談支援センターにご相談ください。

（もし相談する場合は、業務に支障が出ないよう質問の要点をまとめ、短時間を心がけてください。）

☆協議会に参加した方は、どんな協議に参加したかご記入ください

サービス提供職員への助言指導 事前課題

整理番号

氏名

『サービス提供職員への助言指導』では、基礎研修終了後の自らの実務経験（OJT）を振り返り、サビ児管としての今後のOJTを含めたサービス提供職員への助言指導の在り方について、学んでいただきます。ご自身の2年間の実務経験（OJT）を振り返りご記入ください。

1、基礎研修の受講時、2年間の実務に向けてどのような目標設定をしましたか？

- ・2年間の実務に向けてどのような目標を設定しましたか？
- ・その目標は達成できましたか？また、そう感じた根拠はなんですか？

2、日常業務(過去も含む)で、あなたが相談して良かったと思うことは何ですか？下記の設問に沿ってご記入ください。

- ・誰に（管理者・サビ児管等）、相談をしましたか？
- ・その時、どのような助言・指導を受けましたか？
- ・それにより、どのような効果がありましたか？

3、あなたはどんな人に相談したいと思いますか？

(例) 最後まで話を聞いてくれて、的確なアドバイスをくれる人等。

整理番号

氏名

モニタリングの方法 事前課題

実践研修における『モニタリングの方法』の演習では、自身の内省を振り返りながらモニタリングの視点・目的・手法を学んでいきます。研修を受講する前に、自分自身や身近な利用者さんが日々の生活の中でどのような行動や感情を抱いているかを一度振り返ってみてください。この課題は全体講義の際やグループワークで使用しますので、個人情報等に留意し、差支えのない範囲でご記入ください。

ワーク1-1 あなたにとってどのようなことが心の糧になっていますか？

(※心の糧とは精神を豊かにするのに役立つもの、生活をよくするために日常的に行うもの、自分にとって大切なこと。)

行動・活動 (〇〇によって)	プラスの感情 (楽しい・嬉しい・安心する等)	行動や活動に起因するできごと (〇〇することができる)
例 愛犬と河原を散歩すること	心がやすらぐ	忙しい毎日をリセットできる

ワーク1-2 あなたの身近な利用者の心の糧は何だと思いますか？

行動・活動 (〇〇によって)	プラスの感情 (楽しい・嬉しい・安心する等)	行動や活動に起因するできごと (〇〇することができる)
例 好きなアイドルのCDを聴く	心がやすらぐ	明日の作業を頑張ろうと思える

ワーク2-1 あなたは過去に、困ったことをどのように解決しましたか？

困難な状況	活用した資源 (人・物・環境等)	結果
例 会議で報告する資料づくりに行き詰まっていた	同僚や先輩からのアドバイス	わかりやすい資料が完成した
その時どのような気持ちでしたか？また、解決できない困り事があった時の気持ちはどうでしたか？		

ワーク2-2 あなたの身近な利用者は困ったことをどのように解決しましたか？

困難な状況	活用した資源 (人・物・環境等)	結果
例 初めてスマホを購入したが使い方がわからない	携帯ショップの無料スマホ講座	スマホが使えるようになり、一人でも携帯ショップへ相談に行けるようになった
その時どのような気持ちや様子でしたか？また、解決できない困り事があった時はどのような様子でしたか？		

人材育成の手法 実地教育としての事例検討会の進め方 事前課題

実践研修における『人材育成の手法 実地教育としての事例検討会の進め方』の演習では、受講者自身の事業所の利用者さんの事例を使用し、事例検討会の進め方や意識・注意するポイント等を学んでいただきます。

研修を受講する前に、身近な利用者さんの事例を下記様式に記載ください。

〈課題についての注意事項〉

- ・この演習は、提出いただいた事例の解決を行う演習ではなく、事例検討会の進め方や意識・注意するポイント等を学んでいただく演習です。虐待等緊急性の高い事例ではなく、既に課題が解決している事例等を基に課題に取り組んでいただきますようお願いいたします。
- ・この課題は、読込事例の内容を記載する課題ではありません。
- ・この課題は、グループでの演習に使用します。個人情報等に留意し、差支えのない範囲でご記入ください。
- ・グループ演習で画面共有し使用する可能性があります。予めご了承ください。
- ・記載方法については、別紙 記載例を参考にしてください。

〈事前課題記載例〉 サービス管理責任者実践研修 事前課題「事例検討会報告様式」

整理番号	実践○	氏名	兵庫 太郎
事例対象者	Aさん	性別 (男)	年齢 (23) 障害種別 (知的)
家族構成	利用者を取り巻く環境 (社会資源)		
本人 (生活: GH、就 B を利用) 父親 (独居) 弟 (社会人・単身生活)	<ul style="list-style-type: none"> ・近所に商店街や公園がある。 ・公共交通機関が充実している。 		
本人の暮らしに対するイメージ ※本人の言葉や行動			
最近、異動により前担当者や他の職員が入れ替わり、話しやすい人が減ってしまって誰に相談したらいいのかわからない。以前は将来就職してちゃんとお給料をもらって一人暮らしがしたいと思っていたけど、最近トイレから出るのも怖くなってこのままじゃ無理かなと思う。			
提出理由 (課題と感じているところ)			
私は、Aさんが以前に比べて就 B の作業に入られず、ほぼ1日トイレに籠られていることについて、事業所の中にご自身の居場所がなくなっているのではないかと、自分でもどうすれば良いのかわからず困っておられるのではないかと考えますが、担当として何をどう支援していくべきか悩んでいる。			
経過と現状 (概要)			
特別支援学校を卒業後、製造工場に就職していたが1年半で退職し事業所の利用開始。当初は手先の器用さを活かして菓子箱や電気部品の組み立て作業ができていたが、最近は活動になかなか参加することができずほぼ1日中トイレに籠る状況が続いている。職員の業務も多忙で普段から落ち着いているAさんのことはどうしても後回しになってしまい、必要な時に限るくらいしか接点を持っていない。人と話すことが苦手なため自身から訴えはほとんど聞かれないが、職員の声掛けには返事をされ理解している様子。			
ストレングス (強み)			
性格・個人的特性		才能・素質	
対人関係は温和で穏やかな性格 職員や他利用者に思いやる気持ちがある 支援にも協力的である		手先が器用で行程を覚えると丁寧な仕事ができる 視覚理解 (写真付き説明) が可能 就職経験がある	
環境のストレングス		興味・関心、向上心	
住まいの場 (GH) との連携が機能している GH内の対人関係も良好 近所には商店街・公園があり交通の便もよい		趣味は昆虫観察と野球観戦 (阪神戦) お菓子やケーキなどが大好物 一般就労に向けて働く力をつけたい いつかは一人暮らしがしてみたい	

令和5年度 サービス管理責任者実践研修 事前課題「事例検討会報告様式」

整理番号		氏名					
事例対象者	Aさん (全てAさんとします)	性別		年齢		障害種別	
家族構成			利用者を取り巻く環境（社会資源）				
<p>本人の暮らしに対するイメージ ※本人の言葉や行動</p> <p>できるだけ本人の言葉で書く。具体的な表情や態度など事実を記入。支援者の予測や推察は書かない。</p>							
<p>提出理由（課題と感じているところ）</p> <p>なぜこのケースを選んだのか？利用者は何に困っており、支援者として何が課題と捉えているのか等。</p>							
<p>経過と現状（概要）</p>							
<p>ストレングス（強み）</p>							
性格・個人的特性				才能・素質			
環境のストレングス				興味・関心、向上心			

【演習事例】

氏名：富士達也さん（23 歳）

障害：軽度の知的障害（B2）

サービス種別：就労継続支援 B 型と共同生活援助を利用し 1 年半経過

富士さんは特別支援学校の高等部を卒業後、製造部品を作る工場に就職したが、1 年半で退職。富士さんは父親との二人暮らしであったが、父親の体調が悪化したことによって今までの暮らしが困難となり、障害福祉サービスを利用することになった。一人暮らしと一般就労を目指し、共同生活援助事業（ピアハウス）で生活し、就労継続支援 B 型事業所（スマイル）を利用している。

スマイルでは手先の器用さを活かした菓子箱の組立や、金属部品の組立ができていた。休憩時間には昆虫好きの担当職員と一緒に図鑑を見たり、事業所周辺の昆虫を観察することが好きだった。利用から 1 年が経った頃には、他の軽作業にも挑戦してみたいとの要望もあった。

ADL はほぼ自立しており、意思疎通は富士さんからの訴えはほとんどないが、困った時は「困ったカード」を使用し、意思表示していた。職員が話しかけるとボソボソと返答をし、会話の理解力については「はい、はい」と返事をするため分かっているように見えるが、理解はできていないことが多かった。

そんなある日、富士さんがスマイルを利用した時からの担当で、一番に信頼していた職員が 3 月中旬で出産休暇に入ることになり、現在は別の生活支援員が富士さんの担当をしている。他の職員も異動や退職などで入れ替わることが多く、利用開始当初からの富士さんをよく知る職員はいなくなってしまった。3 月初旬に行った個別支援計画の見直し時には、新たな軽作業にも取り組んでいくとしていたが、担当の変更により、実行はできていない状況である。

現在、富士さんはスマイルには通って、金属部品組み立ての軽作業に参加できる日もあったが、1 時間程してお腹を押さえてトイレに行き、そのままトイレにこもってしまった。そこから、ほぼ一日中トイレにこもり、活動や食事時間などの 1 日のプログラムに参加できていない。軽作業に参加した時の活動記録として、「職員に注意されて腹が立った。やり方が分からなかった。」と書かれていた。以前は「楽しい」「褒められてうれしかった」と書かれていることもあった。担当職員が代わった頃、活動中に一度便失禁を起こすことがあった。本人からの訴えはなかったが、職員が気づき更衣を促した。また、以前は使用していた「困ったカード」も最近は全く使用していない。一方で、普段関わりが少ない看護師に、休日中に見つけた珍しい昆虫について笑顔で話していた。

この度、サービス管理責任者は、体調不良で 8 月末で退職となり、異動により 9 月 1 日からサービス管理責任者としてスマイルに着任したてのあなたは、事業所の現状に何となくよくない空気を感じた。富士さんの個別支援計画書【資料 2】を確認したところ、長期目標に「一般就労に向けて、働くための力をつけつつ、やりがいを見つけ、自信を取りもどせるように支援します。また、困ったときには自分から相談できるように支援します。」となっていた。

また、他の職員等の情報収集については【資料 3】に記載している。

資料 1

●事業所の情報（作業内容及びアクティビティメニュー）

- ・近所には商店街や公園があり、交通の便も良い。
- ・スマイル（就労継続支援 B 型）とピアハウス（GH）は同一市内に位置し、徒歩で 15 分ほどの距離。
- ・菓子箱や金属部品の組み立て、清掃作業（特養施設清掃等）、食品加工作業（弁当やパン・お菓子の製造販売）

▼スマイルでの過ごし方

時間	スケジュール	現状
9：00	ピアハウス（GH）出発	徒歩
9：30	スマイル到着 → 更衣 → 朝礼 → 作業準備 → 軽作業（組み立て等） ※適宜休憩	更衣が終わるとトイレで過ごす
12：00	昼食	食堂に人がいなくなる頃から食べ始める
13：00	軽作業（組み立て等）・創作活動・レクリエーションのいずれか	食事が終わるとトイレで過ごす（まれに軽作業には参加できることがある）
15：30	作業終了 → 更衣 → 活動記録記入 → 終礼	以前の活動記録には「もっと色々な軽作業がしたい」などが記入されていたが、最近では空欄がほとんど
16：00	スマイル出発	徒歩

スマイル（就労継続支援 B 型事業） 個別支援計画書

利用者氏名： 富士 達也 様

作成年月日 令和 5 年 3 月 〇〇 日

【本人の意向】

父親には今まで世話になったので、迷惑はかけたくない。普通に仕事をして、自分のことは自分でできるようになり、いずれは一人暮らしがしたいと思っています。今は朝も起きられないし、働く自信もないので、そのための準備をしたいです。また、困った時は相談をしたいけど、うまく伝えるのが苦手なので、うまく伝えられるようになりたい。昆虫や野球の話ができる友達がほしい。

【総合的な支援の方針】

就労継続支援 B 型を利用することで、生活のリズムを整え、就労場面で必要なスキルが身につくように支援します。できることが増えることで、ご本人の自信につながるように支援します。

【長期目標】

一般就労に向けて、働くための力を付けつつやりがいをみつけ、自信を取り戻せるように支援します。また、困った時には自分から相談できるように支援します。

【具体的な支援内容等】

ニーズ 解決すべき課題)	短期目標	具体的な支援内容 (配慮・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間)	場所	担当者	優先 順位
もっといろいろな作業に 取り組みたい。	組み立て作業以外にも取り 組めるよう支援します。	・手順書を用いて説明をします。 ・慣れるまではスタッフが見守ります。	月～金 9:30～12:00 (3 か月)	作業場所	職業指導員	1
新しい友達と楽しく過ごし たい。	新しい友達をつくり、昆虫や 野球の話ができるように支 援します。	・行事の際は参加を促します。 ・休憩時間は他の利用者とは過ごせるように配慮し ます。	月～金休憩時間 (3 か月)	休憩スペース	職業指導員 生活支援員	2
困ったり、不安な時には、 自分から相談できるように なりたい。	困ったり、不安なことがあれ ば、自分から相談でき るように支援します。	・困った時には「困ったカード」で意思表示できる ようにカードを作成します。 ・不安が大きい様子の時は声をかけます。	常時 (3 か月)	相談室	サビ管 職業指導員 生活支援員	3

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

確認年月日： 令和 5 年 4 月 〇 日

利用者氏名 富士 達也 印

説明者（サービス管理責任者）氏名 〇〇 〇〇 印

～情報収集～

●過去の記録からの情報

- ・軽作業の工程は写真付きで説明を行い、不十分なところは何度も丁寧に伝えた。
- ・手先の器用さがあり、手順や方法を覚えるときれいに仕上げることができた。
- ・最初のうちは自分から困りごとを伝えることが苦手なため、「困ったカード(ヘルプカード)」を使用していた。
- ・休憩時間には昆虫好きの職員に、公園や GH 周辺にどんな昆虫がいたか嬉しそうに教えてくれた。
- ・朝起きることが苦手で利用当初は遅刻が多かったが、GH での生活になれたことで遅刻はしなくなった。
- ・作業を一通り経験し、自信につながった様子。活動記録に「ものを作る仕事で就職したい」と書かれていた。

●関係職員の情報

・富士さんの現担当職員

業務の多忙さにより富士さん一人に時間をとることができない。また、周りの職員から「あなたが担当の職員なんだから、考えてください」と言われ負担が増していた。しかし、富士さんと良い関係を作りたいと考えているが、何をどのようにしてよいのかが分からない状態。

・先輩職員

1 年前に異動してきた。日常業務の多忙さから、富士さんに時間を割くことが難しいと考えている。

・富士さんの前担当者（令和 5 年 3 月中旬 出産休暇）

富士さんがスマイル(就労継続支援 B 型事業所)を利用した時からの担当で、富士さんに一番信頼されていた。前担当者曰く、本来穏やかな性格で人と関わるのが好きだと感じている。利用契約された当時は、職員全体で富士さんのことを理解し、気にかけることが出来ており、現状との違いに申し訳なさを感じている。

・看護師（非常勤職員）

富士さんの腹痛や便失禁に関して、医療的な調整よりも、精神的支援のほうが必要性は高いと考えている。今回の件は、時間をかけて丁寧に対応すれば、良い方向へ向かうと信じているが、意見することは躊躇している。

・ピアハウス（GH）のサービス管理責任者や職員

時々自室にて大声を出している（理由不明）。トイレにこもることはないが、お腹が痛そうにしているため通院した結果、「異状なし」とのこと。GH で便失禁はない。お菓子やケーキが好きで、時々同居の利用者の分まで購入し配っている。活発なタイプではなかったが、ここ半年ほどは元気がなく表情が沈んでいることが多い。体調を確認するも「大丈夫」とだけ話す。それでも、休日には仲の良い入居者と野球（阪神戦）を見に行ったり、公園で昆虫観察をしている。また、月に一度、自宅へ帰り父親と過ごしている（弟は就職し、単身生活）。GH でも協力できることがあればしたいと思っている。

・相談支援専門員

富士さんが最初に関わった障害福祉サービス関係者。3月のモニタリング時に、新たな希望等について意思表示があり、問題なく過ごしていると思っていた。何かあれば調整しなくてはいけないと自覚している。

・前任のサービス管理責任者

退職のため聞き取りできず。